

日本共産党東京都議会議員 文教委員会理事 / オリンピック・パラリンピック特別委員

とや英津子のニュースレター

TOYA ETSUKO Newsletter

事務所：練馬区桜台1-6-11 TEL：03-6324-8060



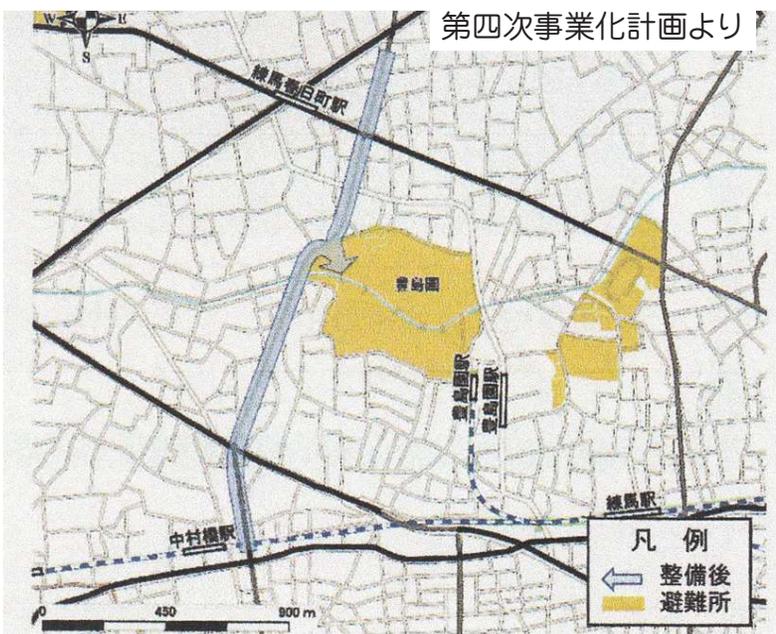
「としまえん」もうひとつの問題～都市計画道路 補助133号線

住民の声をあげていきましょう

練馬城址公園整備計画は公園審議会の答申が出され、事業認可申請も下り、様々な問題を残したままで具体的整備が動き出します。そして「としまえん」に接続する都市計画道路補助133号線の事業化に向けた動きも間もなく具体化すると思われます。

「防災公園」へのアクセス道路のはずだったが…

補助133号線が優先整備路線に指定された第四次事業化計画では「豊島園へのアクセス道路」と位置付けられています。また、この豊島園が平成23年に優先整備区域に指定された際の理由として「東日本大震災を踏まえ、首都東京の防災機能強化に向け、重点的に整備すべき公園」とありました。こうした並々ならぬ東京都の姿勢を受けて、様々な問題があるにもかかわらず、これまで住民の大きな声はあがってこなかったのだと思います。



静かな住宅街の姿が一変

補助133号線が通る向山・春日町の用途地域はほとんどが「第一種低層住居専用地域」であり、最も厳しく住環境を守ってきた地域です。目白通りと環八の通り抜けとなれば大型車や夜間交通量も増えます。そして、こうした大型道路の沿道は中高層建物を誘導する都市計画に変えられます。そうすると地域は一変するでしょう。

石神井川が作った地形と文化も大切

石神井川を挟んだこの地域は、両側に崖線が走り、そこに谷戸が幾筋も刻まれています。こうした地形は苦勞もあると思います。一方でそのため静かな環境が保たれ、変化のある風景を生み出してきました。また人々が早くから住みつき、その遺跡も連なっています。こうしたことから、住民の皆さんの気持ちが大切にされるべきと考えます。

今後の東京都の動きとしては、事業認可申請に向けた測量説明会などが行われるでしょうが、納得できないことは声を挙げていきましょう。

裏面に133号線の基礎情報を載せました。これからも皆さんの声を聞かせていただきたいと思います。

「防災機能」は後退し「稼ぐ公園」へ

スタジアム施設建設・営業により今後30数年間は防災機能の完成はないこととなります。そして現在の避難場所としての機能も後退します。また、公園審議会答申にある「広域防災拠点」は、東京都の法律や制度では何の根拠もないもので、その基準もないこともわかりました。

こうなると補助133号線の整備理由も揺らいでいきます。「ハリーポッター」へどんどんお客を運ぶための道路となるのではと疑いたくなります。



都市計画道路補助133号線 (向山・春日町)

- 延長：目白通り～172号線 1.26km
- 計画幅員：16m (一部19m)
- 車線数：2車線
- 都市計画決定：昭22.11.26 戦復告128号 (練馬城址公園都市計画決定昭32.12.21)

- 都市計画変更：昭41.7.30 建告428号 (練馬城址公園優先整備区域：平3.12)
- 優先整備路線決定：平28.3